

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 佳作

身近にある税金

長岡市立与板中学校

三年 坂井 友紀

私は今まで、税金をそこまで気にかけてことはありませんでした。小学生の頃は消費税しか知らなかったくらいです。中学生になって、所得税や住民税などいろいろな税があることを知りました。調べてみると、税金の種類は約五十種類もありました。私が知っている税はほんのひとにぎりです。なぜ私達の生活の中でこれほど多くの税金がかかっているんだろう、と思いました。

学校で、「もし税金がなかったら」というビデオを見ました。その日本では、所得税や消費税がないので、最初は「給料も減らないし物価もかさ増しされなくていいのでは？」と思っていました。ですが火事が起きたときに消防を呼ぶと高いお金を払うことになりました。警察も同様で、お金がかかるので犯罪がおきても呼べない、道路も整備されずゴミ収集もされず環境は悪くなる一方。教育も受けられない子どももたくさんいました。私は、税金がないだけでこんなひどい世の中になるのかと驚きました。なぜ税金がかかるのか、それは私たち国民がくらしやすい世の中にするためだと思います。くらしをよりよくするために政策を考えるのは政府や地方の自治ですが、どんな政策でもお金が必要

になってきます。そのお金の面で国民が助けなければ、いくら良い案があっても実行はできません。実行できなければ世の中は良くなりません。だから税金を納めることは大切だと分かりました。そしてその税金を学生の私はどうやって納めたらいいかというと、「消費税」があります。おこづかいを使って何か物を買うだけで消費税を納めることができます。なぜ多くの種類の税金があるのか、それはどんな人でも税金を納めて社会に必然的に貢献できるようにだと思いました。学生として社会人として社会に貢献できるようにつくられている税金はよくできているなと思いました。

まだまだ人生これから私が一番身近に感じている消費税。今まで何のためにあるんだろうとずっと感じていたし、消費税があるから値段も高くなるんだとあまり良く思っていまませんでした。でも今回税金に改めて触れたり考えたりしてみると、消費税を払うのは国のためにつながり、国民である自分にもつながってくる、こんな自分でも社会貢献できると思えてきました。今自分が納められる税金はスズメの涙よりも少ないですが、大人になって働けば所得税という形でも納められるようになるので、今は就職に少しでもつながるように勉強を頑張りたいです。